

# 殿田中学校2年生2名が、職業体験学習に来てくれました

11月13日から15日まで、南丹市立殿田中学校2年生2名が、当病院の看護部で職業体験学習をされました。1日目は渡邊看護部長から病院看護師としての心得についての話のあと、訪問看護ステーションで、2日目は当病院3階病棟で、3日目は同4階病棟で、教育担当の看護師さんから、いろんなことを教わり、いろんな体験をしてもらいました。

また最終日には浅沼病院長から、当病院の機能や、南丹市と京丹波町が直面している医療と介護の現状と諸問題、その中の当病院の役割について、詳しく分かりやすく、話してもらええる機会がありました。病院長も看護部長も「何年か後には看護師さんとして一緒に働いてもらえることを、心から待っています」と言われていました。

3日間の職業体験学習、お疲れさまでした。



右から浅沼病院長、殿田中学校2年生の2人、渡邊看護部長、竹瀬主任

1日目は、実際に訪問をしてみて、利用されている方の話をしっかり聞くことやコミュニケーションをとるのが、訪問の中でも一番大事なことなんだとわかりました。

2日目は、病院の見学をして、患者さんの過ごし方などを見て、ささいなことでも気を遣い、患者さんがもっと過ごしやすいように行動することが大切なのかなど感じました。また、看護師の方一人につき、6人ぐらいの患者さんをみられていたので、他の看護師の方と相談をして、コミュニケーションをとり、周りを見るのが大切なんだと思いましたが。午後には手術室へ行って、なかなかできない体験がたくさなくて、良い経験になったし、いろいろなことが学べたのでよかったです。(T・A)



中西主任(右)から説明を受けている2人

病院長(右)の話を真剣に聞いている2人(中央)



私は、職業体験を通して、看護師には、患者さんや訪問看護を利用されている方に対して、声をかけることや、様子を観察して、生活しやすいように物の位置を変えることが大切だと知りました。また、次に必要な物を予測して、使いやすいように渡すことが大切だとわかりました。学校生活でも、声かけなど、職業体験で学んだことを活かしていきたいです。(O・M)